

## 平成30年第13回恵那市教育委員会会議録

開催日時 平成30年12月21日(金) 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 4A会議室

出席委員	教育長	大畑雅幸
	教育長職務代理者	村松訓子
	委員	鎌田基予子
	委員	樋田千史
	委員	西尾修欣

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長	児玉光弘
事務局長	加藤真治
調整監兼生涯学習課長	伊藤英晃
教育総務課長	西尾克子
教育総務課総務係長	三宅英機

### 議 題

#### 報告事項

- 報第 1号 旧吉田小学校跡地利用について
- 報第 2号 平成30年度教育委員会重点目標の進捗状況について
- 報第 3号 恵那市の園小中学校のトピック(1月)について
- 報第 4号 恵那市中央図書館月別利用状況
- 報第 5号 中山道広重美術館月別観覧者数
- 報第 6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
- 報第 7号 その他

開 会 (午後1時30分)

#### 1 会議録の承認

平成30年第12回恵那市教育委員会定例会会議録を承認しました。

#### 2 教育長の報告

教育長 教育委員の任期は12月16日からで、次の1年が始まります。前回承認いただいた通り、村松委員に1年間、職務代理者を指名しましたので、よろしく願いいたします。

現在12月議会中です。一般質問では、一つはこども園の運営、状況についての質問がありました。また、広重美術館運営状況についての質問が一つ。そして、学校の子どもたちの教科書、ランドセルが重い状況に伴い、教育委員会の置き勉の考えについて質問がありました。また、吉田小学校の跡施設利用についての質問があり、答弁をしました。

次ですが、年末に県事務所の学校職員課と市教委で、順番に市内の小中学校の校長と面談し、来年度向けの人事の相談をしました。少子化と職員、教員不足が少しずつ進んでいる中で、校長先生のマネジメント、それを補佐する教頭との連携が大事と感じました。

次に、三郷町のユニオン機工から百万円、土岐市内の会社から百万円、学校教育に役立ててほしいとのことで寄付をいただきました。ユニオン機工の寄附は、三郷小学校と恵那西中学校で備品を購入させていただきました。土岐市の会社については、非公開という申出がありまして、用途については、学校に相談しているところでもあります。大変ありがたい話でした。

最後に、最近いろいろな場面で取り沙汰される管理職、上司のパワハラですが、私ども気をつけて指導しています。よくよく考えながらも対応していかなくてはいけないと思ったところです。

## 5 教育委員の報告

委員 11月に今年最後の教育委員会訪問で恵那北中に行ってきた感想を述べさせていただきます。

北中はランチルームで生徒と昼食をとることができて、直接生徒と触れ合う時間がある学校なので、楽しみにして行きました。私が案内された席は、中学3年生でしたので、話題は受験のことでした。先生からの情報を気にしながら、高校の定員状況や勉強の様子など話しながら、わずかな時間でしたが交流しました。その後、昼休みを利用して地域の講師の方を招いて、先生からお茶の作法を教わって生徒たちが抹茶のおもてなしをしてくれました。心が豊かになる取り組みは良いと思いました。

最後に少し気になることは、教員の方の病休を耳にして、特に若い先生方には健康管理をしっかりしていただきたいと最近思っています。

委員 先日、恵那高の校長先生と話す機会がありました。話をされるたびに必ず、とにかく優秀な教員を育てたい、教員になりたい生徒をどんどん送り出したいということを常に思っていて、特に地元の教員を育てたいという思いと、これから何を仕組んでいくにも地域、地元は絶対に外せないの、現在、恵那市の商工課に協力をいただいて、企業が具体的に紹介などに取り組んでいる話も伺いました。今、私の子が高校1年に在学していて、先日、学校で教職セミナーというのがあ

って、すごくよかったと言っていました。実際の教員の方からお話もいただいたと聞きました。さらに教員になりやすい環境を整えていけるといいと感じました。

委員 コミュニティ・スクールを各学校で進めているが、地域の人から一体何をしていけばいいかという質問があった。校長も悩んでいることを聞いている。中野方は総合学習の形で郷土学習、棚田があったり、遠足に行ったりして、地域の人を講師に招いて、語り部をやってもらうということを校長から聞きました。ある学校でも、郷土学習を取り入れていると聞いている。伝統ある和楽器の授業している学校もある。

これからコミュニティ・スクールは一体どうなっていくのか、組織化をしっかりして独自のものを学校でつくっていく必要がある。郷土とつながることがコミュニティではないかと思っているが、コミュニティ・スクールの根幹をもう一度確認したい。

教育長 平成26年頃から取り上げられるようになってきた。急激な少子化、そして地域でも高齢化世帯が大半となっていく中で、地域の方々にご支援いただきながら、子どもたちをよりよく育てていきたいということが目的です。

コミュニティ・スクールには、必ずその組織の中に学校運営協議会という組織をつくります。これは校長を中心にしながら、委員はどんな役職の方であっても構わない。例えば、中野方の地域自治区の代表の方、恵那市が進めている生涯学習からいえば、コミュニティセンターの塾長や、行政の地域担当者、伝統芸能を教えてくださいるところは、伝統芸能や、地域文化の継承する代表者、総合型スポーツクラブみたいなのがあればその代表者などです。

多くの校長は、今ある学校評議委員会を拡張した形でイメージしながら、組み立てているようだが、学校評議委員会と学校運営協議会の大きな違いは、学校評議委員会は校長の諮問機関なので、学校の様子を見ていただき、意見をいただいて、校長が学校運営の参考にさせていただくという段階です。

これに対して学校運営協議会は、学校長が学校の経営方針も含めて、学校運営協議会に諮って、最終的に承認をいただく。よって一緒に学校経営に参画しているということになりますので、責任も生じてくるということです。

この学校運営協議会は学校の頭脳です。代表の分野でご支援していただくということで、子どもたちがいる時間帯に学校に入っていて、外部講師的に支援していただくようなこともあれば、子どもが少なくなってきたので、学校周辺の草刈などの環境整備や、資源回収の手伝いなどお願いすることもあります。そうした内容は校長の判断して決めていきます。

委員 校長の構え、考え方に差がある。中野方に行ったときも、職員のメンバーを見たら、二、三年の職員がほとんどでした。若い人が多く、地域も分からないので組

織化、システムをつくり上げていくことが大事です。

ただ問題なのは、伝統芸能でも、年配の人が増えてくる。担い手をどのように育成していくかも大事だと思います。

委員 12月16日から正式に教育委員を再任することになりましたので、お世話になります。よろしく願いいたします。

3点ほど話題を上げさせていただきます。11月23日の勤労感謝の日に、山岡中学校の合唱祭が祝日の日に開催されました。2つ、感心したことがありました。

1つは恵那高の音楽部の先生だと思いますが来てみえて、講評をしていただいていた。恵那高の先生でも、そういった地元とのかかわりを実際にとっているので、もっと深める必要があつていいのではと感じました。音楽部の先生が講評してくださるとその学校へ進学して挑戦してみよう、そのような子どもが出れば、大いに結構と感じました。

もう一点、前日に中学生がみんな来て、会場準備や掃除もしてくれたと聞きました。トイレ掃除もしてくれたと会場担当の市職員から聞いて、そうした行為を感謝して報告してくれる人がいるということ、ぜひ学校の方に何かの形でフィードバックができればいいと思います。

次に学校要覧のことです。全学校から借りましたが、大きさも書式も様々な形があります。学校で独自でつくっているのが良いですが、職員の数、項目とか、学級の割り振りの仕方が統一されていないような気がする。例えば職員の数でも校医が入っている。薬剤師が入っている。中にはPTA会長まで入っている学校もあれば、純粋に事務員までとかというような学校もあるようです。このあたりは統一をされたほうが良いと思いました。

また、特別支援の学級の表記がしてある学校もあれば、特別支援の学級が表に入っていないということも見たので、数を足していくと人数合わないところがありました。だから、統一してもらったほうが良いだろうと思いましたので、市教委から最低限の何か指示があるといいだろう。全てお任せではなくて、資料として見たときに、資料の質を上げていただくというようなことを思いました。

もう一点ですが、冬休みが終わって3学期になると、卒業式になる。小学校卒業式の女子児童のはかま姿は、賛否両論ありますが、恵那市では今回どうされるのか、何か方針があるのか。もしあれば、指導方法を聞きたいと思いました。

教育長 校長裁量が一番理解を得られると思っています。例えば既に卒業式で中学校の制服を着せる、それが慣例になっている学校もあります。様々な場合についてもメリット、デメリットがありまして、それは卒業式の1日だけのために、華美になることを避ける。大方は中学校へそのまま行くので、同じ制服を着て出ればいいのかという意見もあれば、小学校段階であるのに、なぜ中学校の制服を着るのかというような意見もあり、制服を着る学校の中でも私学の中等部へ行くので

異なる衣服が目立つといった異論も出る中で、校長裁量で、多くはこれまでの慣例に倣うことが多いが、校長に指示することは、P T Aの本部役員の方々と相談をして、了解合意の上で着るといようなことはお願いをしています。

## 6 報告事項

- 教育長 それでは報告事項第1号旧吉田小学校跡地利用についてお願いします。
- 事務局長 報告事項第1号旧吉田小学校跡地利用について資料に基づき説明。
- 委員 建物の希望価格ゼロ円だが、あり得ることですか。
- 事務局長 介護事業の会社が譲渡に興味を示しています。募集をかける場合は、最初は当然鑑定価格で募集します。募集がなかったために、解体費用もかかることから希望価格で、プロポーザル方式としました。
- 委員 土地も運動場も全部売りますか。
- 事務局長 添付された図面でプールがありますが、市の簡易水道施設があるので、ここは売らずに線で囲ってあるところを売却します。
- 委員 学校に行くときに急な道路になっている。これも直しますか。
- 事務局長 市道となっていますが、改良する予定はありません。
- 委員 体育館はどのように使われるのか。
- 事務局長 今のところ使い道が決まっておらず、聞き取りの中では、地元へ貸すなど対応してあげてもいいと言ってみえます。
- 委員 建物は現状渡しですか。
- 事務局長 現状渡しになります。相手方が利用目的のために改修することになります。
- 教育長 報告事項第2号、平成30年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。
- 事務局長、副教育長、調整監兼生涯学習課長  
報告事項第2号、平成30年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。
- 教育長 ご質問やご意見はありますか。
- 委員 13番の保育教諭の確保で、恵那南高校で就職説明会をしたとあるが、保育士に養成するなら試験、資格を取らなければいけないので、大学とか専門学校を推薦するということですか。
- 教育総務課長 恵那南高は保育コースが、福祉・保育コースがありますので、その生徒たちに、保育教諭を目指して、短大、四大に進んで欲しいというイメージ、見通しを持っていただくためのガイダンス、説明会です。
- 委員 高校卒の人でもこども園に就職している人がいる。給食の関係や校務。そういう専門学校等をあつせんすると良いと思います。
- 27番の文化センターの工事は大ホール以外の集会室等は使えますか。

調整監兼生涯学習課長 大ホール以外は使用できます。

委員 6番のコミュニティ・スクールでまた具体的な活動内容を検討するとありますが。

教育長 1月19日に市P連の研究大会があり、この場で義務教育学校の白川郷学園の講演があります。義務教育学校のバックボーンにコミュニティ・スクールがあるので、お話が聞けるかもしれない。

市P連の研究大会は、今回第1回です。主体性を持って計画して下さったということは、大変うれしいと思っています。

委員 コミュニティ・スクールでは、中学校は校区があるところ、小学校のところは連絡協議会、連絡運営協議会、連合、そういう形をとるとい話ですか。

教育長 別途です。連絡会議です。

委員 南地区は合同開催ですか。それぞれ仕切る事務局の方の立場は、どのような方ですか。

教育長 事務局を教育研究所で行いながら、各中学校区から集まってきた人の中で、一応役職を決めて組織立てていくつもりでいますが、過去2年間は準備会という形で、同じような会議を仕組んでいますので、組織のイメージは持っていると思います。

委員 事務局は一人ですか。

教育長 一人です。いわゆるマネジャー的な位置づけです。やがては学校側で主体性を持って動いていってもらつつもりでいます。

委員 その中で事務局の役割をする方をつくっていくということですか。

教育長 南地区については、学校それぞれが小さいので、一つにまとめてというところでは。

委員 結局会の中に責任持っている人がいないといけないと思います。

教育長 連絡会議は責任をとれませんので、各運営協議会には責任を任せられます。

副教育長 学校運営協議会には会長を設けますが、これは評議委員会に、地域の方に会長をやってもらうのが一番良い。本来は、学校にいろいろと意見を言ったり承認したりするのが協議会です。まだそこまで行ってなくて、実質、校長や教頭が仕切っている学校が多いと思います。

委員 管理職が知っているだけではだめです。最も大事なことは、担任が例えば授業を展開する。校長はそれを知っている。そこを繋ぐのが大事。温度差もある中で、担任が一生懸命やっている人はいっぱいいると思う。組織化するとき、校長はどう担任を指導していくか。そのためには校長は何か信念を持つ必要があると思う。

副教育長 学校の経営構想を承認するというのが運営協議会なので、学校の経営構想は、どういう子どもを育てていくかで、地域講師を招いてやっているが、学校の教育の

柱の中に教育活動をつけて、そのために講師を呼んでくるというようにしていきたいと4月に提案します。運営協議会の方が賛成してくれたら、その団体の代表で来ているから、講師を派遣しましょうという。このような形です。担任がカリキュラムを組んで学校教育の中に係わっていくと良いと思います。

委員 学校側と地域の打ち合わせ、連携は絶対要と思う。そういうシステム化されたものが要と思います。

教育長 最初は中学校区ごとに一つずつつくっていかうと思った。しかし、小学校との連携が進まなかったで、今の形になりました。今一番活動していると思えるのは、串原と岩村ではないでしょうか。

副教育長 資源回収も小中合同とかいろいろあります。

教育長 学校にそこまで余裕がない。そこへ地域がどこまで協力してくださるか、支援してくださるかだと思えます

では、報告事項第3号恵那市の園小中学校のトピック(1月)について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第3号恵那市の園小中学校のトピック(1月)について、資料に基づき説明。

教育長 続いて報告事項第4号恵那市中央図書館月別利用状況、報告事項第5号の中山道広重美術館月別観覧者数、報告事項第6号岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数の説明をお願いします。

調整監兼生涯学習課長

報告事項第4号恵那市中央図書館月別利用状況、報告事項第5号の中山道広重美術館月別観覧者数を、資料に基づき説明。

事務局長 報告事項第6号岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について、資料に基づき説明

教育長 ご指摘などはありますか。

委員 意見なし。

## 7 その他

教育長 報告事項第7号東濃地区学校事務職員の学校関連携を進めるに当たっての留意事項について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第7号東濃地区学校事務職員の学校関連携を進めるに当たっての留意事項について、資料に基づき説明。

委員 それぞれの中心校の力のある室長の学校を中心校という言い方をしていましたが、この方たちの事務が増える、単純にそういうイメージですか。この室長がそれぞれの従う縦の学校の、例えば具体的なことでいうと文具や、消耗品発注を取りまとめる、管理する立場になるのではないですか。

- 副教育長 みんなで分担してやっていくということになるかと思います。室長はリーダー的存在ですので、この中心校の校長が招集をかければ、このグループはいつでも集まれるということです。月に1回、半日と決めておいても、必要ならそれ以外でも校長の権限で集めることはできるというシステムです。
- 委員 この事務職員の方々は、市内で異動するだけですか。
- 副教育長 転勤は教員と同じ全県下です。ここの中のメンバーには、もう3年の任期を迎える人もいますし、再任用の方もみえます。
- 委員 今までの事務研修会プラス年2回の出張が入るのですか。
- 副教育長 協議会はまた別だから、出張回数がふえて、さらに負担にならないかという声も心配も出ていますけれども、来年はとりあえずやらせていただこうと思います。やりながら修正を加えていって、それを要綱や管理規則に反映させて、来年度の後半にはしっかり位置づけ、いろいろな方と相談しながらやっていこうと思います。
- 委員 事務職員というのは、結構、教頭や校長に強く言われる場合がある。裁判にもなったこともあるが、円滑に一緒に仕事ができる。そういった問題で何かケアみたいなのはできないかと思うが、その文言が入らないかと思いました。
- 副教育長 仮に共同実行室と名前をつけていますが、学校運営支援室の本当の目的は、子どもたちが健やかに学校生活を過ごせるように、そのためには先生が気持よく働けるようにする。それは、働き方改革の一環ですが、単に事務の効率化を図るというものではないそうです。
- 教育長 では次の平成31年度教育委員会の日程については、都合でまた変更させていただくこともあるので、目安ということでお願いします。1月の行事予定と後援申請については確認ください。
- それでは、第13回教育委員会定例会を閉会します。
- 午後3時35分閉会を宣言します。

平成30年12月21日

教育委員 西尾 修欣

教育委員 村松 訓子